

市街地の林はどのように利用されているか？



ラジオ体操の様子



遊水路で楽しむ人たち



ひのまる公園位置

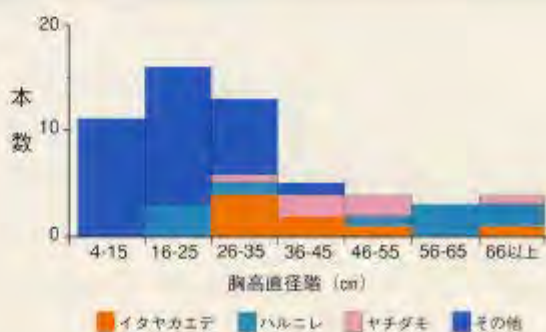
都市化の進展により、市街地には孤立した林が多くなっています。このような林は面積こそ小さいですが、その自然を生かして整備をすれば貴重な憩いの場になります。

札幌市の「ひのまる公園」(面積約3.2ha)は、イタヤカエデ、ヤチダモ、ハルニレが優占し、胸高直径が70cmを超える樹木もあります。夏のある日曜日
の例では、2000人以上もの人達がこの公園を訪れており、同じ日における他の森林公園の利用者数と比べると非常に多いことがわかりました。

	ひのまる公園	道民の森同居地区	野幌森林公園
来訪者数 (1994年9月7日)	2,194	1,476	1,227

① 調査日の来訪者数は、調査日の来訪者数を指します。

里山の森林が、豊かな自然に親しむ場とするなら、市街地の林は身近な自然とのふれあいの場です。里山の森林に加え、こうした林を守り利用することは、都市に住む人たちに幅広い森林レクリエーションの場を提供することになります。



ひのまる公園の林分構造

(保健機能科)